二十一日　夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月　金六十錢
□一部賣　金三錢
□廣告料一行　金六十錢
□雜報欄　金九十錢
□場所指定一行　金一圓増
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五六五
福島縣平市田町十六番地
發行所　磐城毎日新聞社
發行兼編輯印刷人　森合英

今日の教師に崇高な人格者を求める事が如何に至難であるかは誰も知る事である
（西村房太郎）

閼伽井嵐

時間勵行について

堤康秀

「時間を守る」といふことに對しては「正直にする」などゝ同樣に異議のある筈がない。これは半面の眞理ではないから何處からつゝいても正しい。餘りに本當であり過ぎるから行ひ難いのかもしれない。分り切つたことだが眞理は語られるべきでなくて行はれるべきである「時間を守る」といふことは行つて初めてその眞理性が現はれる眞理の行使は習慣にまでゆかなければ駄目である。凡て習慣は破られると不快の念が生ずる。まして眞理性を持つ習慣が内から、又は外から斷たれたとき起る不快の情は自然でもあり、かつ正しい。

さて「時間勵行」はどうしたものか。私はいやしくも共同の生活に於て人が時間を守らぬ場合、我々は遠慮なく不快の感情をさらけ出したらいゝと思ふ。不道德なことに對して我々はもつと峻嚴でなければならない。我々は精神的にもつと潔癖であるべきだ。多分ナポレオンの話であつたと思ふが、彼の部下のある者が度々遲刻する。あるときその言葉に「私は時計が狂ふものですから」と言つたのに對して『では早速その時計を正確なのと取りかへよ。さもないとお前をとりかへるぞ」と彼が叱りつけたとか。このやうなきびしい不快の感情は英雄でなくては持てないものであらうか。我々は從來時間を守らぬ者に對して余りに寛大すぎたいや無頓着であつた愚痴を言ひながらも氣長に遲刻者を待つて正しい習慣の育成のためにも、我々はもつと強くあらねばならぬ。時間を守らぬことに對してお互はもつと不愉快を感ずる樣になる必要がある

心の影

木下雁次

5、暮鳥の著書

暮鳥の著書にどんなものがあつたか。私には皆目わからなかつた先日中柴君から多少暮鳥の知識を注入して貰つたが、種々話を聞いて見るとおぼろげに自分の卅年前の記憶もよみがへつて來る。

三猿文庫氏が暮鳥の著書を持つてゐるといふので豫め抜き出しておいて貰つて十四日の夕方立寄つて見せてもらつた。書き抜いて見ると次のやうなものである。

△葦舟の兒（神人モーゼの傳）齊藤敏夫氏繪及裝禎、文翫堂發行舊約全書の中にあるモーゼの事を書いたものである。

△風は草木にさゝやいた　詩集白日社發行

△聖三稜玻璃　詩集　にんぢよ社發行特製の皮表紙、當時の定價で金五圓といふ豪華なものであつた、一册は並製。室生犀星の叙文がある

△よしきり　童謠集　齊田喬裝畵　イデア書院。

△十字架　創作隆文館

△鐵の靴　長篇童話　内外出版社。是は春陽堂文庫にも出てゐる、河野通勢添畵としてあるが、表紙の畫なども随分變つてゐる。

△聖フランシス　あをぞら社

△ちるちるみちる　洛陽堂

「青い鳥」の飜譯ではなく別個のものゝやうである。

△山村暮鳥詩集　星のひかり大正十二年九月號

○暮鳥詩集　厚生閣

○萬物節　厚生閣

○月夜の牡丹　紅玉堂

此三册は遺稿である何れも詩集である。この他「風景」といふ雜誌がある。大正三年八月號、編輯所は平町揺槌小路新詩研究社とあるいふ迄もなく暮鳥の自宅が編輯所であつたのである。表紙は横山大觀の書いたもので吉江孤雁氏の文が卷頭に載つてゐる。平で後世の文學史に殘るやうな雜誌が發行されたのは空前の事である。敢へて絶後とはいふまい、この雜誌を見ると中學時代の夢が漂つてゐるやうで私にはなつかしくてたまらなかつた。

暮鳥はいかなる人物でありまたその詩に盛られてゐる思想はいかなる思想であつたか。そして現代のこの切端つまつた時局にいかなる關係があるかとなると種々問題は多からう

映畫のこと

城木伊佐緒

（一）

最近大分人々の氣持が荒くなつて來たやうだ電車の車掌、食堂の給仕をはじめ、特に生活必需品を取扱ふ商人達これらの人を例に出して失禮だがすべて言語擧動がどうかするとトゲ〱しく勇ましく（？）なりわれ〱の心をさびしくさせることが多い。（中略）特別お世辞を使はなくてもいゝからあまり損をしたやうな顔ばかりせずにたとへ一週間でも（笑顔週間）笑顔を見せてもらへたらどんなに元氣が出ることであらうか。とは或新聞に寄せられた言葉である。之は強ち不平とのみ聞けるものでなく或程度まで成程と頷ける點があるのではないかと思ふ緊張することゝ荒ぶことゝは根本的に相違がある。笑顔を見せても充分銃後の國民の心構が出來るものでないかと思ふ。獨逸ではあの戰爭中に後世にまで殘る幾多の藝術品が創られてゐることを最近のニュースで見て一寸奇異な感じがした。

佐々木博士は「國民思想はむしろ記紀について多くのものを覺るべく、國民精神に至つては即ち萬葉集に來つて見なければならない就中尊皇、愛國の精神敬神崇祖の觀念の如き純日本的な道義が醇化せられた藝術的表現に於て最も明確に認めることが出來る」といみじくも道破してゐる。こうした非常時には大いに時局を深く認識し國民の精神の糧ともなるべき文化施設が必要であると思ふ。この曖昧に於て當地方の磐城文化協會の誕生は甚だ欣快に堪えないが、逡巡することなくもう少し積極的活動を切望して止まない。

俳句

野薊第三回句會

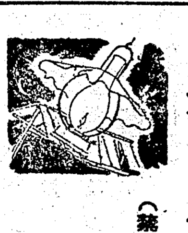
兼題、新樹、羽抜鳥、卯の花腐し　渡邊何鳴選

天
新樹もむ風砲煙をかきけせる　鈴木紅果

地
いらか暗く卯の花腐し煙りたる　淺野放靜

人
伐採や檜の新樹の香にむせぶ　遠藤無聲

佳作
新樹海ケーブル大きく搖れ過ぎぬ　遠藤無聲
朝霧のたちこめてゐる新樹かな　鈴木紅果
ケーブルカー新樹の上をすれ〱に　金子石城
タイプ打つ窓の卯の花腐しかな　寺内裕女
出水し卯の花腐し上りけり　黒井春美
蜘蛛の巣に卯の花腐し白きかな　黒井春美
弓引くや新樹の影の延びかける　高木扇要子



異人劍法【9】

（禁無斷轉載上演上映）

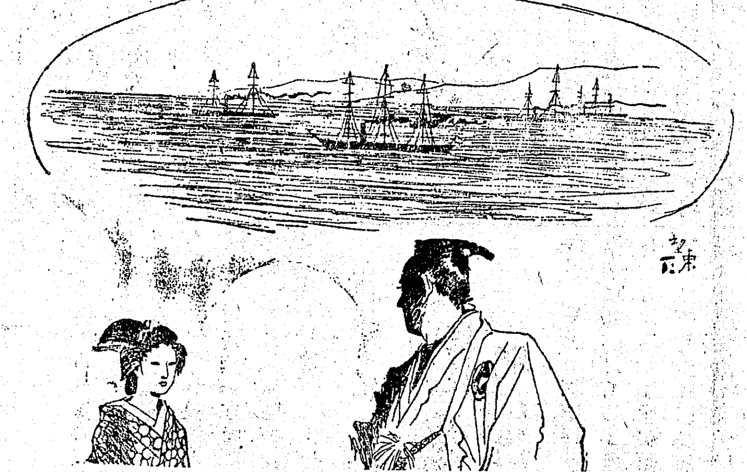
車谷弘
下山望東畫

二つの道（一）

初音を妻に迎へてからの竹内は、とかく健康がすぐれなかつた、その癖部屋にとぢこもつて青い顔をして、本ばかり讀んでゐるやうな日が多くなつてゐた長谷新九郎が出奔してから早いもので、もうやがて一年になる。そのわづかな間に、竹内も變つたが世の中もまたひどく一變してしまつた。

嘉永六年新秋の大江戸は、まるで大暴風雨の後であつた。あの大江戸を恐怖の坩堝に叩つ込んだ黒船が、再來を約して遠くアメリカへ歸つて行つたからだ。

その黒船が、夏の初め、突如浦賀へ現はれた時は、いやもう大變な騒ぎだつた。人々は今にも戰爭が始まるかと思つたし、女は慓へて、この世の終りが來たのだと感じた。しかも四隻の黒船艦隊を率ゐて、威武堂々たる彼理提督は、國書を捧呈して直に退去するかと思ひのほか、幕府役人のこばむも聞かず、傍若無人に、更に江戸灣深く侵入したのだ。そして悠々と灣内を近海まで測量したりした。



無禮はもとより承知であつた、彼理は武力に訴へても、日本の門戸を叩き破る決心だつたのだ。

驚天動地の一大異變に、江戸の人々は色を失つた。今にも黒船地獄が現出するかと。

しかし、まもなく黒船は再來を約して、本國へ歸つてしまつた、江戸の秋に殘つたものはたゞ何となく無氣味なぼんやりとした不安であつた。

佗しい秋がいつそう佗しく、初音は此頃の良人の樣子が氣がかりで堪らなかつた、顔色もすぐれぬのに、あゝ毎日本ばかり讀んでゐては、それにあの咳……と思つたとたんに、襖の向ふで、良人の咳が、咳に咽んで苦しさうな聲が聽えた。

ふすまの開く音に

『初音か』

と顔をあげた。讀みさしの本の上に顔を伏せて咽んでゐたのである本は林子平の「海國兵談」であつた。妻の心配さうな眸をみると、竹内は口もとに微笑をふくんだ。しかし庭の夕明りを受けてゐるとは云へ脣の色まで青い。

『お寒くはございませんか。そうそう私とした事が、もうそろ〱暮れて參りましたのにとんと忘れてをりました、行燈に只今お灯を……』

『いや、それよりも茶をくれい』

『はい』

初音は何か云ひつけられるのが嬉しいのだ。竹内は掌の茶碗の底に妻の温かい心を感じ乍ら、

『どうも此頃は、どうしたのか夕刻になると頭が痛む、それに咳が厭になる』

『あまり讀書にお凝り遊ばすからではありませぬか。お氣をつめすぎて、もしそれがお體に……』

『いやそれは大丈夫だいくら本を讀んでも疲れない。讀めば讀むほどむしろ頭が冴えてくる位だ。可笑しいか、いやまつたく可笑しいしかしわしは隨分短氣で怒りつぽい男だつたそれが如何だ。この頃はだん〱物事を深く考へるやうにかはつて來た』

『それといふのが、もうお體がお惡いからで……』

『そうか、そういふ理窟になるか』

『ともかく少し横にお成り遊ばせ。御頭痛がなさるなら……』

『いや寢てもをられまい。何しろ大變な世の中に成つた。これから武士もいそがしいが、武士の妻も辛くなるぞ

初音のかはらぬ美しい眸をみて、竹内は、微笑みまた、咳に咽んだすゝとそこへ、

『お客樣でございます

ふすまの向ふで、女中の聲がした。

『どなた？』

『横尾平馬樣とおつしやるお方が……』

土木建築
鐵道
船舶仲仕
三崎組
太田勝康
事務所　小名濱町日素前　電話五〇番

おでん
たつた揚
やきとり
一平
平市一丁目

建築木材ノ御用命ハ
木材、天上板
ベニヤ板
建具
木羽、建築材
便利瓦一式
織田材木商店
製材工場
平市磐越東線赤井驛前（大作場）
電四九〇番
電二三五

三宅驗一博士發明（鱈田肝油）
專賣特許
美味しいビタミンのゼリー
ハマーチ
五十錠入　一、一〇
百錠入　二、〇〇
德用罐　五、〇〇
特約店
平市五丁目
山野邊藥局

外科（内臓、整形）
肛門科、性病科
レントゲン科
上田外科
院長　上田耕作
平市南町　電一二九

時局の生んだ新案特許
日の丸習字板（第二八〇五七八號）
使用法…半紙節約ノ目的ニテ墨デ書イテ濡雜巾ニテ拭ツテ置ケバ何回ニテモ使用出來マス
實用新案
メモ板　第二七九〇四號
野球ベール　第一七九七三號
興亞ノート　第二四七九八號
專賣特許
興亞厚紙　第（イ）一七三六〇號　第（ロ）一七三六一號
合資會社
興亞特許商事
同工場　月見町三三

磐城セメント
小賣指定
大谷石を賣始めました
野内商會
平市南町
電話一二番

販賣
砂利小賣
◉長橋町三十番地へ貯藏所を設けました。容れ物御持參下されば小量でも小賣り致します、
◉五合以上の御注文は特に運搬も致します
神谷砂利店
平市白銀町　電話六六五番

産科、婦人科
根本醫院
平市南町・電話三四番

皮膚科
泌尿器科
性病科
江尻醫院
平市田町　電六九一
江尻伊三郎

内科
小兒科
外科
性病科
看護婦及び女中募集
院長全快診療に從事
高久病院
院長　高久忠
副院長　赤羽雄
藥局長　佐竹菊清

お醤油は
味噌、醤油
たひら正宗
鰹節、食料品
鹽屋
山﨑合名會社
福島縣平市
電話營業部一〇番　本店二七番

食事
喫茶
酒場
サロン
營業時間
○開店…午前十時より
○御飯は夜九時までに御願致します
○閉店…午後十一時限り
平市銀座街　電話五九三番

鳩尾加壓器
みぞおちかあつき
鳩尾を落すこ
一、胃腸は丈夫に動脈硬化が柔ぐ
一、鳩尾を落すことは千古を貫く保健の秘訣です
使つた其日からこれは効くぞと判るのが特徴です
製造頒布元…東京林健體本部
頒布所
平市古鍛冶町一〇
阿康藥局
電話四四番

國民精神總動員
日本國民必見の書……
内閣情報部發行
寫眞週報
一部十セン
お取次致して居ります
平二
西村屋藥局
電三

立食
天婦羅
始めました
おでん
もつ燒
一平
小名濱町

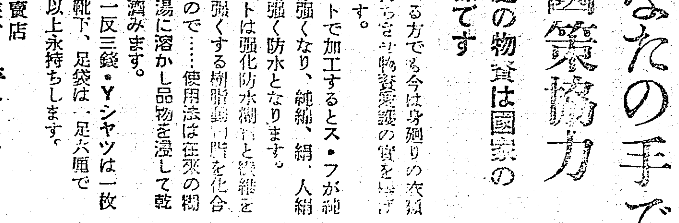
自動車
助手男
車掌女
急募
求人者　野崎交通自動車株式會社
人員　助手五名　車掌十名
年令　十六才以上二十才未滿
希望者　履歷書持參左記ニ申込ノ事
平國民職業指導所
電五六二番

だいこくやニュース
梅雨
配給品純綿朱子傘
大人用　3.90
〃　4.50
女學生用　3.10
蛇の目傘
小型文化傘　2.08
極上蛇の目　2.26
防水マント
通學用　6.76
大人用　16.26
レインコート
オイルシルク　男　11.00
女　14.30
平市
大黒屋

萬年筆は專門店へ
事務に!!!
進學に!!!
御祝に!!!
（公）2.00
以上

岡萬年筆專門店
平市中央通り

織物が強くなる
すべての
強化・防水を兼ねた織物糊
三五
五〇
セン
御推奬
東京聯合婦人會
日本女子大學
商工省加工定袋御買上
大日本青少年團女子部
各支部で講習會開催中
オリモト
スフ人絹綿絹
糊と強化防水を兼ねた劑
國策品



あなたの手で國策協力
家庭の物資は國家の資源です
餘裕ある方でも今は身廻りの衣類を永持ちさせ物資愛護の實を擧げる時です。
オリモトで加工するとス・フが純綿同樣強くなり、純綿、絹、人絹は一層強く防水となります。
オリモトは強化防水糊料と纖維を美しく強くする樹脂劑[illegible]を化合したもので……使用法は在來の糊付同樣湯に溶かし品物を浸して乾す丈で濟みます。
張物は一反三錢・Yシヤツは一枚一錢、靴下、足袋は一足六厘で4倍以上永持ちします。
市内販賣店
銀座町　平マーケット
三丁目　大黒屋
特約店
三丁目　太丸屋

縣廳員と膝を交へて
郡市協力會議

本月の縣下の郡市協力會議は今廿日から廿四日迄五日間に亘つて行はれるが、全縣下を四班に分けた中、石城郡及平市は第四班となつてをり、當日は縣から佐久間經濟保安課長、內池振興課長、長澤總務課技師、立山耕地課技師、宍戸翼賛會書記の他班長として高野經濟部長、近藤庶務部長が出張、地方の盛り上る建設的な聲を具さに聽く事になつてゐる、十六日からの中央協力會議が豫期以上の成果を收めたのに鑑み、この郡市協力會議は多大の期待を持つて各方面から迎へられてゐる

“代用食、木炭の配給” 下から盛り上る『聲』

郡市協力會議は市常會が從來の通稱で常會委員を以つて組織し平市常會は從來七日が市常會日となつてゐたものであるが、今回縣が縣下の常會日を統一、上意下達に都合好くしたものである、現在市常會委員は五十名であるが先般の四市協議會で定員を增加して區內會長で常會委員となつてゐないものを新たに依囑する事になつたから約二十名を增加、七十余名の常會委員が廿三日の午後一時から公會堂の日本間に參集、前記のお役人方を混へて上意下達下情上達をするわけである、是に先立ち廿日の午前中市常務委員會を開いて市長がいろ〳〵諮問してゐるが、當日の縣よりの示達事項としては

△各種常會運營について

△市町村下部組織の整備指導について

の二つであり市の示達事項は

△常會實施上の注意事項

△各區內からの要望事項

△國民貯蓄に關する事項

△支那事變記念日實施について

の四事項である。また目下各區內會から提出されてある議題としては「米の配給」「代用食」「木炭配給」等の物資配給問題が主で變つた所では「市內の美化運動」のやうなのも提出されてゐる。今回のやうに縣廳から部長以下多數の役人が來て市常會を開く事は始めてゞあるだけに一般市民もその成果に多大の期待をかけてゐる

各部門役員 内定
平地區組合

平商業地區組合は既に全部門の役員の銓衡を終り、縣の諒解を求めた上で發表する段取となつてゐる

郡協力會議
明廿二日公會堂

廿三日の平市協力會議に先立ち明廿二日午前九時から平市公會堂日本間で石城郡協力會議が行はれる。縣からは別項市協力會議出席の高野經濟部長以下が列席する事になつてゐる

一千二百貫の大ウバ鮫
小名濱大敷の獲物

昨二十日正午頃小名濱大敷網に長さ四間、重量一千二百貫の大ウバ鮫が漁獲され小名濱鮮魚介移出共販所に身賣したがこれで今年の大ウバ鮫の漁獲は大小五尾である、このウバ鮫は寒流帶に棲息する鮫類で南下する寒流に乘つて迷ひ込んだもの

小名濱水道新加入
特典つき期間中 二百二戸

小名濱港水道部では去る五月十五日より六月十四日迄特典付きで未設置の家庭へ水道加入を勸誘中であつたがこの期間中二百二戸の新加入者を得、これで小名濱水道加入者總計一千百戸の三分の二を占め、殘余の分には未だ水道設備ならざる個所多く、この惠れない處にも水道部では取急ぎ鐵管の布設を爲すべくこの程鑄鐵管百八十五本の入荷と縣より二十噸の配給を得たので全町に水道栓を洽く布くことになつたが後三十噸の配給を獲得すれば全町に殆んと鐵管が布設されるので近くこの鐵管獲得に運動を開始することになつた

常會進出
完納を呼掛ける平稅務署で

平稅務署では管下に滯納者殆んどなく優良な成績を納めてゐるがこれをいつまでも永く保持させようと部落常會町內會、隣組等に署員を特派、納稅懇談會の形式で各集會に進出、今後とも一人の滯納者もないやう呼掛けることに成つた

體力檢査 日割決定

平署並に四ツ倉署管內體力檢査は次の日割で執行される

【平署管內】△七月十五日平市、△同十六日三坂澤渡、△同神谷、△同十七日上下小川、△同十八日赤井、永戸、箕輪、△同十九日內郷、好間△同二十日玉川、湯本△同二十三日磐崎△八月五日飯野、△同六日夏井、高久△同七日江名、鹿島△同十日、豐間、小名濱【四倉署管內】△七月二十日大久、草野、△同二十一日大浦、△同二十二日四倉、大野、△問二十三日久ノ濱

“制服の田植” 廿三日から三日間

平市農會では市內各學校と連絡、二十三、二十四、二十五の三日間次の如く田植奉仕作業の應援を求めることに決定した

△二十三日磐中、藤田（三百五十名）△二十四日平陽（五十名）△二十五日平商（四百五十名）

平將棋例會
吉田昇氏優勝

平將棋娛樂會六月例會は昨廿日五丁目吉田屋で開かれたが、參會者五十名、湯本町吉田昇氏が決勝戰で平市江尻給一氏と手合せをして優勝した

勤勞奉仕
四倉商業青年隊

四倉商業報國青年隊では明二十二日午前七時半より隊長面川貞之助氏以下團員六十余名が町役場に集合し小林農業指導員指揮のもとに同町字田戸部落の應召家族並に手不足の農家へ田植奉仕作業を決行する

小麥粉が增配される
但し老人、子供の多い家

臨時飯米配給法實施に伴ひお米の配給量が更に制限されて配給量の少ない老人や發育盛りの子供を持つ家庭ではお米が不足し增配を希望する聲が高いが平市では縣からの通牒で二十一日各區內會長に前記老人や子弟が多く現在の配給米では充分でない家庭に特に警察署の證明あれば小麥粉の增配を認める旨次の如く通達した

△生育盛りの子弟多きもの又は六十一才以上の重勞働に從事する者等にして現在の配給量にては到底生活を維持し得ざる者に最少限度の特配券を發行す

◆右配給券は平警察署に於て交付すべきに付申請人は隣組長の認印を求め飯米配給通帳持參の上申請の書面を同署に提出することと（申請書は半紙四ツ切或はチラシ等の裏面を利用するも可）

尙ほ以上の外、一般家庭でも直接飯米通帳を携帶して各配給所に申出れば若干づゝ小麥粉を配給してくれることになつた

鮫川疏水の沈下個所
來月十五日完成

鮫川疏水水利組合では去る一月來工費四萬五千圓を以つて渡邊村晝野地內の水路の沈下個所外十五ケ所を修理中であつたが工事も豫定通りに進捗、來月十五日完成することになつたが、現在も修理中七十石の水を通してをるので田植には別段異狀ないが同改修工事が完成すれば將來共に二町四ケ村約八百町歩の水田が殆んと旱魃に襲はれる心配が解消するので附近農民から鶴首されてゐる

前線慰問通信
☆★★☆★【25】☆★☆★☆★

鐘、大鼓打ちながら田植する支那

宜昌戰線よりの歸途
縣議　木村守江氏

五月廿一日、珍しく曇つてゐる。午前七時出發柴金嶺に向ふことになつてゐるので雨など降らぬやうにと心から祈つてゐたが、それとてあまり暑いのは困ると心ひそかに祈つてゐた、丁度立花部隊長が鶍鴣嶺まで要件の爲め同行するといふので一緒にトラックを借りて七里の山や谷の間に造られた立派な道を走る。

立派な道路と言つてもこの平坦な道路といふのではなく只幅が二間もあらうといふ日本軍が急造した道路であるのでトラックの乘客に間断なく眼の廻る思をして相互にしがみついてゐる程の惡路である。途中大陸的な物凄い黑雲と共に驟雨が來たが隊長から借りたマントを三人仲よく被つて濡鼠になるのを免れた。午前八時半頃鶍鴣嶺に到着し立花部隊長と別れて〇〇部隊から準備されてゐたトラックに乘移り柴金嶺に向ふ。この自動車を運轉してゐたのは丁度大野村中島出身の長谷川四郎君であつたので途中色々な戰地の状況を聞きながら退屈もせずに十時頃〇〇部隊に到着す。直ちに蕪市に向ひ出發す、この地は揚子江に面し宜昌より約二十里程下流である、この邊の揚子江の流れは三つになり七百米位離れて中洲があり長さ百里もいふので百里洲と命名してゐる、この百里洲にもその對岸にも敵がゐるのだといふ、よく見ると敵の步哨らしいものが見えるが、この地には多に射擊しないとのことである。それはこの蕪市の金持が對岸に逃げており自分の市街の破壞されることを怖れて支那軍に金を出して戰爭を止めてもらつてゐるとのことであるが時々敵の射擊が開始されると又金を取られてゐるなど話合つてゐるとのことであつた、これも面白い支那式の戰爭である。阿久刀川部隊長の準備してゐてくれた晝食をすませて二里を距てた熊家灣に至る、この邊は一昨日來揚子江對岸の敵の移動が頻繁になつて來たとて時々宜都の周圍の山岳地帶の敵を目がけて山砲を擊てゐた。こゝは宜都から約五千米位離れた處である、觀測所かは宜都が見えるが支那兵は宜都の砲擊されることを怖れて周りの山の中に陣地を造つてゐるが市街には一人も殘つてゐない、極めて靜かな市街で一人の人通も見えない。慰問を終り柴金嶺に歸る途中水田の眞中に大きな太鼓とドラ鐘とをドンドンがら〳〵やつて田植をやつてゐるのを見た、約二十人位の大家の田植らしいがこの太鼓と鐘の音に合して田植をするのだそうだ、これも內地には見られぬ珍風景である。

柴金嶺に一泊しこの地も慰問した、この附近で會つた人には

寺門友巳（平）渡邊正夫（好間）鈴木玉吉（磐崎）鈴木直三郎（大野）高野宰（金房）菅野豐（新地）館野銓一（八澤）今野正司（磐崎）矢荻器（渡邊）飯本直饑（鹿島）四柳謙吉（磐崎）遠藤長久（久之濱）川久保正三（太田）山野叡庄司（豐間）大原博夫（內鄕）高野武始（同）紺野信春（津島）井戸川秀男（幾世橋）竹和要次（平）菅野圓四郎（山上）鈴木四郎（玉駒）西川義雄（內鄕）鈴木正男（泉）渡邊孝（富岡）佐藤春榮（平）荒川義雄（久之濱）長谷川四郎（大野）安齋次郎（二本松）柴崎忠一（永戸村）

の諸君である。十七八里の道を一日で步くのであるから、あまり忙しいがこれ丈の兵隊さんに會つて元氣な顏を見ながら色々な話をすることが出來たのは幸であつた。

百餘名を檢擧
平署の賭博狩り

平署では去る六日の一齊檢擧以來惡質ブローカー、重役、事務員等の檢擧を行つたがこれと同時に炭礦漁場方面に巢喰つてゐる常習賭博犯百余名も槍玉に上げ嚴重取調べを進めてゐるがこれに伴つて相當廣範圍に關係者續出するものと見られ同署でも今後引續き常習犯を薯蔓式に檢擧する方針であると

前科もの、常習賭博
一回の場錢 數千圓
網に掛つた大獲物

別項、平署の賭博狩りの網に掛つたもの〻うち最も大掛りな常習賭博は植田町生れ賭博前科十五犯大津次郎（六四）小名濱町同前科三犯齋川登（三五）同町同前科五犯小野一（三四）同町同前科四犯小野廣（三七）同町同前科三犯野崎忠治（四〇）茨城縣高萩町同前科五犯飯塚庄治（五〇）同縣大津町同前科二犯名倉正（四三）外東京並に濱通り方面の常習犯三十余名がある、同人等は昨年夏ごろから炭礦、漁場等の料亭を舞台に一回數千圓の場錢を拂ひ豪勢な花札賭博を開帳してゐたもの、尙ほこの外管內から檢擧された主なものは次の通り

△好間方面の炭礦で賭博常習坑夫卅余名△湯本町前科四犯志賀仙太郎（五四）外二十名△平市南町前科二犯市毛吉太郎（五三）六丁目前科二犯馬間壽（五六）五丁目前科四犯青木恒纓（四三）東京生れ興業師前科四犯松本辰雄（三五）茨城縣生れ前科三犯高木半助（三四）外十名

マイクを通じ
木村縣議の『慰問談』
福島から廿五日午后五時

百六十萬縣民を代表として中支前線鄕土部隊慰問の重任を果して去る十四日歸町した縣會議員木村守江氏は來る二十五日午後五時より福島放送局のマイクを通じ『中支前線慰問談』を放送することに決定した

印刷業組合成る
來月六日創立總會

紙の配給その他現時局下に即應した態勢を整へるために豫ねて平市內山崎、畑納、二葉、高橋、三國屋、常磐、平活版の七印刷業者が發起人となり組合を結成すべく準備中であつたが愈々來月六日午後一時から平市紺屋町福島無盡樓上で創立總會を開く事になつた

この組合は平市及石城郡下の印刷業者を合一したもので當日は約四十名の業者が集るものと豫想されてゐる

矢ケ崎技師 放送（P F）
廿三日午後六時

神谷農事試驗場矢ケ崎諫技師は二十三日午後六時二十分から郡山放送局において『夏野菜の栽培管理』と題し約二十分放送する事となつたが同氏は非常な研究家だけに各方面から頗る期待されてゐる

御下賜品 傳達式
けふ四倉で

四倉町役場では今二十一日午前十時より町內戰歿勇士遺族に對し此程　皇后陛下より賜つた御下賜品の傳達式を行つた

小名濱町に 双生兒
だがお母さん死亡

小名濱町本町米澤寛さん妻ウラさん（四四）は十九日國策的な男女の双生兒を生んで一家を擧げ悅んだばかりでウラさんは內出血の爲め遂に死亡したので世の同情を集めてゐるが双生兒は何れも健康である

四ッ倉繭市場
廿四日閉場
出廻りは昨年の三割減

四ッ倉石双乾繭組合四ッ倉繭市場は二十四日春繭取引を打切るが十五日開場以來昨二十日までの買入貫數は二萬三千余貫で光澤も極めて良好、〆切の二十四日までには九千貫出廻る豫想であるが昨年の三割減に當る

野薊の 第三回句會
草野の鴻山氏宅

地方同好者より成る野薊會の第四回句會は來月二十日午前九時より草野村久須美鴻山宅に於て行ふ同日は第三日曜と公休日に當るので相當盛會を豫想される

尙七月の互選句は「浴衣」「孑孑」「蜜豆」出題句は「時烏又は金魚」「豌豆」野薊集（當季雜詠）通じて五句

綿ネル給配
平で三七四人分

平市では姙婦八ケ月以上並に出生兒で未だ配給を受けてゐないものに近く第五回目綿ネル及び晒木綿各半反づゝ三百七十四人分を配給する

時刻の表示ご流し込み
映画法實施の市內三館

來月一日から東北各縣の映畫館は映畫法の實施により現在の一興行三時間單位の映畫時間が二時間半となり三十分短縮される事になる但し必ず映寫すべき文化映畫が二百五十米に及ぶ時は三十分の延長が認められるがさて平市內三映畫館ではこれに對しどんな對策をとつて一般映畫ファンにも滿足を與へ映畫法の實施にも忠實たらんとするであらうか

各館主の話を綜合して見ると、各館とも大体一日三回興行をやつてゐるので一興行の映寫時間は二時間半を少し越える程度であるから七月一日から特に短縮となるやうな事もないとのことであるが、變つたこととしては各映畫の映寫時刻を館の表に表示して何映畫は何時から始めて何時何分に終了するかを一般に知らしめるやうな方法をとるまたフイルムは三本立ては出來なくなり二本立てを本体とするやうになり（東京は一本立て）流し込みといつて一度入つたらいつ迄見てゐても好く、一興行毎に途中で追ひ出されることがなくなり從つて自分の好きな時間に入つて次の興行で自分の觀た所迄來たら勝手に出て來られるわけで此點從來より都合好くなる。もつとも平館、世界館は從來も流し込みであつたからこれは聚樂館だけの問題となる。料金は從來通りとある。是を以て見ると從來より却つて映畫ファンにとつて都合好くなる事の方が多く、衛生といふ立場からいつても二時間半位が適當であつて三時間以上館內に閉ぢ籠つて映畫の量を貪る事は新時代に添はぬ趣味ともいへよう

局長役員會
郵便局第一部

昨二十日石城郡郵便局第一部局長役員會を小名濱局に開き、貯蓄奬勵、保險年金、募集方法その他一般事務向上の打合せをしたが來る二十三日には第一部郵便局（十五局）主任會を小名濱校講堂に開き役員會で決定した事項を實行に移すべく協議する

幼兒へ福音
菓子が配給される

キヤラメルの不足は幼兒を持つ家庭を惱ましつつあるが平市內森永ベルトラインの五丁目泉屋、銀座通り松月堂では幼兒に優先的に配給するやう目下その方策を講ずべく協議中である、なほ一般のお菓子は來月から農林省で統制配給とする事となるからお菓子は多少從

商況
（二十一日）

	高	安
【野菜】		
玉葱	三五	
玉菜	三〇	
サヤ豆	九〇	
ホレン草	五五	
大根	三五	
【鮮魚】		
平目		五四、〇
大アジ		二二、五
小アジ		一八、〇
サバ		一四、〇
メジ		四五、〇
鯛		九〇、〇
イワシ		六、四
カツ		一九、三

平市慶弔錄

【出生】平市字八幡小路六十番地西山實長女八重子さん

【死亡】平市字南町二十四番地涌井米子さん（一）

天氣豫報

今晚　南東の風曇り一時晴れ

明日　南東の風曇つたり晴れたり

（六月廿二日）

滿潮　前一、四四　後四、〇五

干潮　前九、三三　後九、一五

おちの良い マルミ粉石鹸

一台のミシンで浮ぶ家庭の經濟
良いミシン一台買つて衣服更生

追從を許されざる斯界の權威
ミシン界の明星
ミシン界の王座
代表的國產
シンガー
アサヒ
精研舍
ニッポン
トーヨー
ナショナル
ブラザー

迷はず…迷はされずに安心して買へるミシン

◎型錄進呈　¥190＝

外交員なし　信用確保　直接販賣

平市驛前田町
常磐特約販賣代理店
シンガーミシン商會

本年度の貯蓄目標百卅五億圓
聖戰へ「我も貯蓄で募ら」

翼賛貯金掛金表

滿期拂渡金	毎月掛金表 三年	五年
壹百圓ニ付	二、六六	一、四四

右ノ倍數ニテ如何程デモ差支ナシ
一、係員が毎月集金ニ御伺ヒ致シマス
一、貯蓄組合ノ貯金ハ特ニ御便利ニ扱ヒマス
一、其ノ他各種貯金ヲ扱ヒマス
有限責任信用組合
平庶民金庫

三井生命
三井生命保險株式會社
代理店 ㊇ 釜屋商店
保險部　振替東京七〇四五

御料理 一の井
平 三田小路
電一六七